学校関係者評価報告書（平成29年度）

平成29年度の学校評価委員会を開催し、「北海道情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：平成29年8月30日（水）

学校関係者評価委員：

有識者委員1名、企業委員1名、卒業生委員2名、地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。</p>	
<p>(2) 学校運営</p> <p>電子開発学園グループとして、時代に即した全国的に共通する意思決定を行っており、常に時代をリードする新しい取り組み実践している。</p> <p>また、本校としての独自性、地域性を考慮した運営も行っており、競合校に勝る経営を実践している。</p>	<p>課題の把握と今後の対応について適切な自己評価が行われている。（全員）</p>
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育カリキュラムを毎年見直しており、企業ニーズに即した教育を行っている。システム系カリキュラムについてIPAが推奨するiCDをもとに再構築を行った。その結果、iCD Silver Plus 認証を受ける事ができた。</p> <p>電子開発学園グループのスケールメリットを活かした教育体制で運営されており高く評価できる。</p>	<p>時代に即した優秀な人材育成教育が行われている。（卒業生）</p> <p>課題の把握と今後の対応について適切な自己評価が行われている。（全員）</p>
<p>(4) 学修成果</p> <p>在校生に対する資格・就職・キャンパスライフに対し一定の成果を上げており、取り組みを高く評価できる。</p>	<p>現状分析と今後の対応について適切な自己評価が行われている。（全員）</p>

<p>(5) 学生支援</p> <p>在校生対応、保護者会、地方近況報告会など十分な支援がなされており、特に改善項目はない。</p> <p>また、HCS 独自の学費支援制度、入学前説明会など、入学生に対する支援も行っている。</p>	<p>同窓会と協力し卒業生の動向把握に努め、同窓生との交流を深めることで、学生の採用にも繋げる事を期待する。(卒業生)</p>
<p>(6) 教育環境</p> <p>教育環境については、毎年計画的に更新しており、適切に運営している。</p> <p>また、施設・設備については、保全計画に基づき優先順位等を考慮しながら、毎年段階的に保全工事を実施しており、高く評価できる。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員)</p>
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>真実性・明瞭性・公平性・法令遵守等に配慮し、全項目について適切な学生募集広報を実践している。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員)</p>
<p>(8) 財務</p> <p>財務基盤はほぼ安定しており、適切に運用している。</p>	<p>18歳人口の減少により、収益環境は厳しい状況にある。例えば小学生を対象を広げ、付帯事業としてプログラミング教室を実施するなど、財務状況の改善に努めてはどうか。(有識者委員)</p>
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令や専修学校設置基準に準拠した規程・規約等を制定しており、適正な運用がなされている。</p> <p>また、個人情報保護にはいち早く取り組み、コンプライアンスプログラムを構築し、教職員や学生に対しても啓発を図っており、特に改善事項はない。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員)</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>献血、及び近隣の清掃活動を行っている。また、町内の方を対象としたパソコン教室、中学生を対象としたプログラミング講座など、社会貢献、地域貢献に寄与している。</p>	<p>毎年実施している、町内の方を対象とした「パソコン教室」では非常に助かっている。今以上に連携強化をお願いしたい。(地域住民)</p>

以上